

## 【情報公開文書】

2021年9月8日作成

Ver.2.0

研究課題名	胃癌におけるロボット支援下手術の有用性の検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 腫瘍外科
研究責任者	荒井 淳一
研究機関	この研究は長崎大学病院 腫瘍外科のみで実施します。
研究期間	2021年10月19日～2026年12月31日
研究目的と意義	今日、さまざまな外科領域において、開腹手術から内視鏡を応用した低侵襲手術(腹腔鏡手術、ロボット支援下手術)へと変換されつつあります。2018年4月より胃癌の手術においてもロボット支援下手術が保険診療としてみとめられ、通常の診療として施行することが可能となり、当科でも2019年6月よりロボット支援下手術を行っています。ロボット支援下手術は、その特性によって安全で根治性の高い手術が可能になると考えられています。しかし、まだ少数で詳細は不明であり、今後データが蓄積されて解析される予定です。本研究は胃癌におけるロボット支援下手術の合併症発生に関連する因子を明らかにすることにより、ロボット支援下手術の有用性を明らかにし、患者に最適な治療を提供できるようになります。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2019年6月1日～2023年5月31日の期間で、長崎大学病院腫瘍外科にて胃癌と診断され手術を受けた成人の患者さんが対象となります。</p> <p>●利用する情報。 診断名、年齢、性別、併存疾患、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理結果）、手術関連情報、進行度など</p> <p>●研究の概要・方法 対象となっている症例の情報を診療録(カルテ)から収集し、術後合併症の有無、在院日数などの治療成績を明らかにします。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：荒井 淳一（医師） 長崎大学病院 腫瘍外科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）</p>